

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者福祉		必修(社.精) 選択(理.作.心)	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
古川 奨	B313	t-furukawa		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;障害者の生活実態について学習すると共に障害者福祉制度についての理解を深めることを目的とする。                      &lt;概要&gt;同時双方向型授業を通し、障害者の生活実態、取り巻く法律および制度について講義する。</p>				
学習上の助言	自己の中にある障害観と向き合うことで学習が深まるため「障害とは」について自問自答し、今の自分の障害観について深めて学習に臨んでもらいたい。				
教科書	新社会福祉士養成講座14 第5版 障害者に対する支援と障害者自立支援制度／編：社会福祉士養成講座編集委員会／中央法規出版				
参考書	適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態について理解し、説明ができる。		HSU(1)(2)(3)、社精心(1)、社精(2)		
②	障害者にかかわる法体系について理解し、説明ができる。		HSU(1)(2)(3)、社精心(1)、社精(2)		
③	障害者総合支援法の概要について理解し、説明ができる。		HSU(1)(2)(3)、社精心(1)、社精(2)		
④	専門職の役割と他職種連携について理解し、説明ができる。		HSU(4)、社精心(1)、社精(2)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(授業の進め方、評価についての説明) 障害者福祉を学ぶことの意義について学習	同時双方向型授業	自分が思う障害観についてまとめておくこと	2	
2	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態①について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	4	
3	障害者を取り巻く社会情勢と生活実態②について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	4	
4	障害者にかかわる法体系①について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
5	障害者にかかわる法体系②について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
6	障害者にかかわる法体系③について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
7	障害者自立支援制度①について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
8	障害者自立支援制度②について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
9	障害者自立支援制度③について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
10	組織・機関の役割について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	4	
11	専門職の役割と実際①について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
12	専門職の役割と実際②について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
13	多職種連携・ネットワーキング①について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
14	多職種連携・ネットワーキング②について学習する。	同時双方向型授業	指定教科書の目次部分を読取る。	2	
15	14回までの総まとめ。	同時双方向型授業	14回までの総復習をする。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	25	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	定期試験を実施し評価する。試験内容は、同時双方向型授業で説明した内容から学生が達成すべき行動目標に示した部分の理解度を問う問題を出題する。			定期試験後、解説を研究室前に張り出す。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	適宜行うチャット機能を使ったディスカッションの際の取組み、提出課題の内容を確認し、授業内容の理解度を評価する。			次回の授業で提出課題に書かれた質問等への対応を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams をつかった同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野から障害者福祉の学びを深めることを課題として課す (22 時間)。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>教員の实務経験：ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 9 年の臨床経験。  <b>実践的授業の内容：</b>学生が身近に感じている福祉を共有しながら、教科書に記載されている一般的事項を確認する。精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、専門家が提供する福祉と地域住民が求める福祉に関する認識の違いについて学習する。</p>							